

(4) 審査結果について: 和光樹林公園及び新座緑道

(ア) 一次審査(20 点満点)

審査基準、審査項目(指定管理料等の見積り、指定管理者管理運営状況、申請内容と現況調書の比較(供用日や供用時間)、埼玉県内に本店のある団体への加算)に基づき、資格・書類審査を実施しました。

(イ) 二次審査(100 点満点)

プレゼンテーション及び選定委員によるヒアリング等による審査を実施しました。

	審査項目	配点	和光樹林公園パートナーズ
—	一次審査(書類審査)	20	15.5
1	基本的な考え方	15	13.4
2	効果的かつ確実な管理運営	20	16.7
3	効率的な運営	10	8.3
4	応募者の経営基盤	10	10.0
5	緊急事態への対応	15	13.1
6	SDGs に配慮した運営	10	8.6
7	公園の特性を活かした管理・運営	20	16.1
	合計点	120	101.8

※ 合計点は各選定委員の合計点を平均した点数のため、各審査項目の平均点数を合計した点数と異なる場合があります。

(ウ) 選定理由

- ・ 積極的な樹木管理の DX 化や、当該公園を継続的に維持管理することで、公園の価値や魅力を高めようとする努力が評価できる。
- ・ 地域での避難訓練参加など防災への取組や、異常気象に伴う雷への対策の提案もあり、利用者の安全を守る危機管理体制が整っている点が評価できる。
- ・ 緑地を活かし、軽食サービスの提供や憩いの場を提供する改善策は若い利用者にとっても魅力的であり、公園の活性化が期待できる。

(参考) 選定委員の主な意見

団体名	意見
和光樹林公園パートナーズ	<ul style="list-style-type: none">• これまでの樹木管理の実績を踏まえ、枯れ木エリアの再生も含めて今後さらにより整備が行われることを期待する。• 利用者の声、近隣の住民の声をヒアリングし、協働しながら地域の期待を反映していただきたい。• 地域での避難訓練参加など防災の取組や、利用者の安全を守る危機管理体制が整っている点を評価した。• 近隣地域との連携を通じて集客を見込んでいるが、さらに多くの県民の利用を促進するような情報発信の工夫についても検討して欲しい。• 樹林は本公園の大きな強みである。樹木管理専門のプロとしての視点を踏まえ、今後、他の公園での事例などを取り入れながら、積極的な樹木管理を実施していただきたい。• 来年度以降は指定管理期間の第Ⅲ期ということで、積極的に利用者の声を聞くだけでなく、そこから一歩進んで、協働する動きがあると良かった。(県民、市民とともに、人手としてだけでなく、企画提案・運営を支える等)